

Press release  
報道関係者各社

2025年6月23日  
イーエスジーテクノロジーズ株式会社

## 高校生が証明\_畜産の"厄介者"が地球を救う最強の味方に大変身

手作りメタン発酵装置の運転開始式のお知らせ



岐阜県立大垣養老高等学校に設置された手作りメタン発酵装置

牛糞投入の様子

### ■本プロジェクトについて

#### 【はじめに】

本プロジェクトは、エネルギー・環境事業に携わるイーエスジーテクノロジーズ株式会社と京都大学が共同研究し、岐阜県の大垣養老高校の生徒たちが主体となって、畜産の“厄介者”であるふん尿を利用した手作りのメタン発酵装置を設置・運用します。

#### 【プロジェクトの特長】

気候変動やエネルギー問題は、これからの世代が直面する最も深刻な課題の一つです。高校生のうちから再生可能エネルギーについて学ぶことで、問題の本質を理解し、自ら考えて行動する力が育まれます。

「ふん尿＝廃棄物」という既成概念を覆し、畜産資源を再生可能エネルギーとして活用することで、「家畜の存在意義」や「農業の価値の再認識」を促進する循環型農業モデルの構築を目指します。生徒たちは実践的な再生可能エネルギー教育を受けながら、社会課題の解決にも貢献できる活動に取り組んでいます。

### 【地域体制の構築】

教育活動の枠を超え、大垣市全体での「地域創生」のモデルケースとしての発展を目指しています。

近年、再生可能エネルギーへの移行とエネルギーの地産地消が注目される中、今後は地域住民が非常時に活用できる持続可能な地域エネルギー体制の構築と、液肥利用を含めた資源循環を視野に入れています。

### 【京都大学との共同研究について】

本プロジェクトは、京都大学農学研究科の大土井克明助教との共同研究として推進しており、同助教から専門的な学術支援を受けながら運用を進めています。また、今後は近隣の大垣工業高等学校とも連携体制を構築し、装置の技術改良や運用効率化に学生が主体的に取り組む計画を立てています。



液肥採取

当社は、このような産学連携・学校間連携を通じて、「地域の高校生が地域のエネルギーを支える」という実践型教育モデルを確立し、大垣市が推進する地方創生の先進的なモデルケースの一助となることを目指しています。



岐阜県立大垣養老高等学校 生徒との打ち合わせ

### 【会社概要】

社名：イーエスジーテクノロジーズ株式会社

所在地：東京都中央区日本橋茅場町1丁目4番6号 木村實業第二ビル2階

代表：毛利元

事業内容：【再生可能エネルギー事業】【省エネルギー事業】【業務受託事業】【農林業】

設立：2020年 10月

## ■運転開始式について

2025年春、装置が完成。京都大学農学研究科の大土井克明助教、再生可能エネルギー推進協会や自然エネルギー推進機構といった有識者団体の協力のもと、岐阜県立大垣養老高等学校の生徒たちが小型バイオガス装置の設置や運用に関わるという、全国的にも珍しい“実践型の再エネ教育”がいよいよスタートしました。

完成した装置に、生徒たちが自らの手で牛ふんを投入。メタン発酵によってガスを発生させ、燃焼デモをおこないます。ぜひ、実際に現場で、若者たちの熱意と手作り装置の稼働風景をご体感ください。

教育×環境×社会問題が一体となった本プロジェクトの中心となっているのは、地域の未来を担う高校生たちの熱意と行動力です。若い世代が自らの手で再生可能エネルギーの可能性を切り拓いていく姿を、ぜひ多くの方々にご覧いただき、励ましの声を届けていただければ幸いです。

彼らの挑戦に対する温かいご取材・ご報道を、心よりお願い申し上げます。



試運転・攪拌



試運転・pH値計測①

### 【バイオガス運転開始式のご案内】

#### 開催概要

- 日時：2025年7月3日（木）16:00～
- 会場：岐阜県立大垣養老高等学校（岐阜県養老郡養老町祖父江向野1418-4）  
※詳細・取材手続きについては、ご連絡いただいた方にご案内いたします。
- 内容：
  - ・メタン発酵装置の紹介と稼働状況の説明
  - ・運用方法について
  - ・プロジェクトの今後の展望
  - ・京都大学研究者との質疑応答（予定）

### 【取材申し込み・お問い合わせ先】

イーエスジーテクノロジーズ株式会社 担当：松下 敦子

TEL:080-3368-5683 | Email:matsushita@esg-t.jp

当社 HP:<https://esg-t.jp/>